

反社会的勢力でないことの表明・確約に関する誓約書兼照会同意書

(以下、「甲」という)と一般社団法人全日本ホテル連盟(以下、「乙」という)は、乙の団体に入会するにあたり、「反社会的勢力でないことの表明・確約に関する誓約書兼照会同意書」に同意する。

- I. 甲は、現在又は将来にわたって、次の各号の反社会的勢力のいずれにも該当しないことを表明・確約いたします。
- (1) 暴力団
 - (2) 暴力団員又は暴力団員でなくなってから5年を経過しない者
 - (3) 暴力団準構成員
 - (4) 暴力団関係企業
 - (5) 総会屋等
 - (6) 社会運動等標ぼうゴロ
 - (7) 特殊知能暴力団等
 - (8) その他前各号に準ずる者及び団体
- II. 甲は、現在又は将来にわたって、前項の反社会的勢力と次の各号のいずれかに該当する関係も有しないことを表明・確約いたします。
- (1) 反社会的勢力によって、その経営を支配されている関係
 - (2) 反社会的勢力がその経営に実質的に関与している関係
 - (3) 反社会的勢力を役職員や顧問としたり、反社会的勢力に紛争解決の依頼や相談をしたりするなど、反社会的勢力を利用していると認められる関係
 - (4) 反社会的勢力に対して資金等を提供し、又は便宜を供与するなどの関係
 - (5) 役職員又は経営に実質的に関与している者が、反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係
- III. 甲は、自ら又は第三者を利用して次の各号のいずれかに該当する行為を行わないことを表明・確約いたします。
- (1) 暴力的な要求行為
 - (2) 法的な責任を超えた不当な要求行為
 - (3) 取引に関して、脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為
 - (4) 風説を流布し、偉形又は威力を用いて貴会の信用を棄損し、又は貴会の業務を妨害する行為
 - (5) その他前各号に準ずる行為

IV. 甲は、上記各号のいずれかを満たさないと認められることが判明した場合又はこの表明・確約が虚偽の申告であることが判明した場合は、貴会会員の拒絶もしくは、会員の除名を受けても異議を申しません。これにより損害が生じた場合でも、一切甲の責任とするものである。

また、上記各項のいずれかに該当するか否かの確認のため、貴会が専門機関（各県警、公益財団法人暴力団追放運動推進センター）に照会することについて同意する。

令和 年 月 日

(甲)	住 所	
	名 称	
	氏 名	印
(乙)	住 所	東京都千代田区鍛冶町 2 - 4 - 8
	名 称	一般社団法人全日本ホテル連盟
	氏 名	会 長 清 水 嗣 能 印